

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

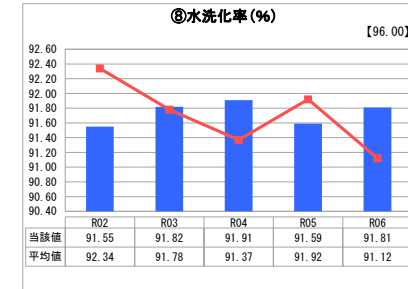
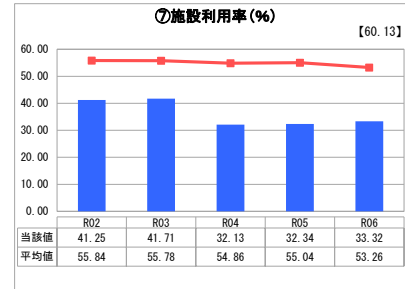
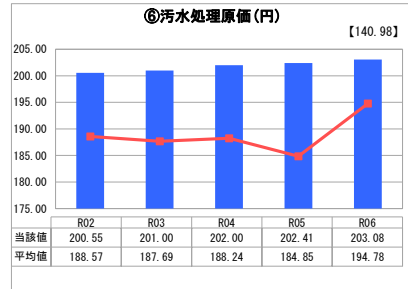
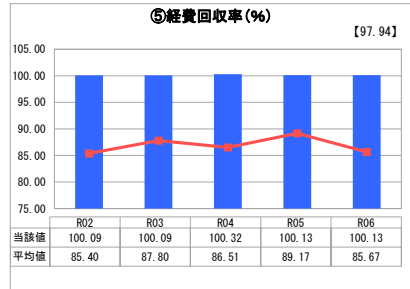
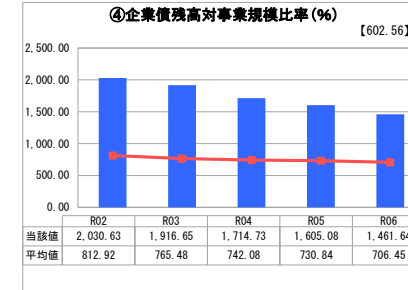
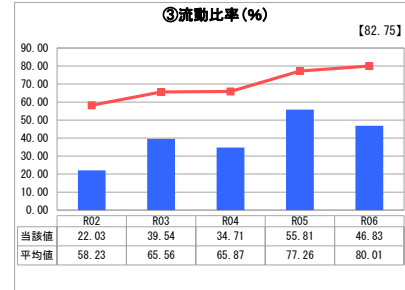
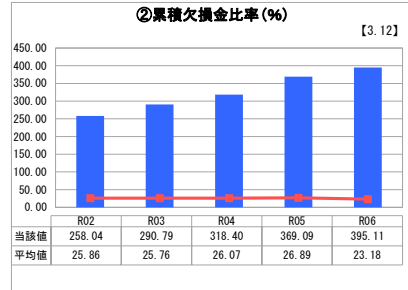
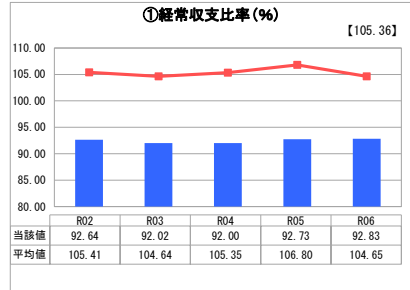
岡山県 備前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	75.29	67.85	76.16	3,872

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,816	258.13	119.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,791	12.60	1,650.08

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、前年度と比べほぼ同程度で推移し、類似団体平均値を下回っている。令和8年度の整備工事概成に向け処理区域面積は拡大しているが処理区域内人口は減少し、有収水量及び使用料収入は微減する傾向が続いている。概成後を見据えて水洗化率の向上などで収入確保に努める必要がある。

②累積欠損金比率は、前年度と比べて悪化しており、使用料収入の確保と経費削減を同時に進めるなどの経営改善が必要である。

③流動比率は、流動資産の減少により低下した。

④企業債残高対事業規模比率は、残高が減少しているのが改善傾向にある。

⑤経費回収率は前年度と同値であるが使用料収入は減少しており、収入の確保に努める必要がある。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均値と比べて若干高い。未接続世帯への周知により有収水量の増加を図るなど、改善に努める。

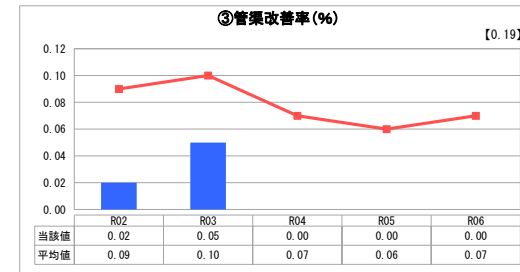
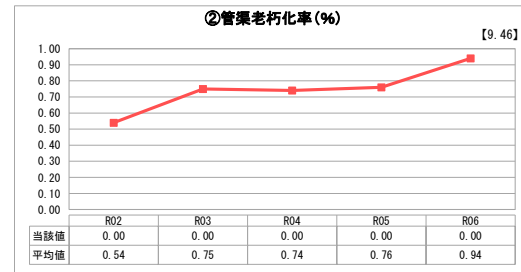
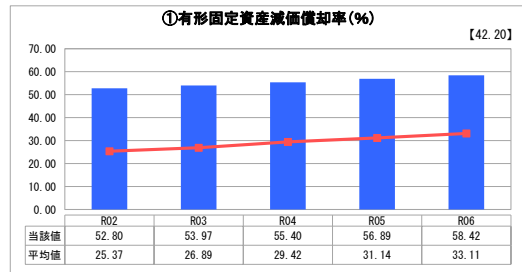
⑦施設利用率は前年度とほぼ同程度で推移している。未接続世帯への周知により有収水量の増加を図る。

⑧水洗化率は、ほぼ同程度で推移しているが、引き続き未接続世帯への周知を図り、管理整備後に早期の接続を促すなど水洗化率の向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比べて高いが、顕著な問題はない。ただし、老朽化に伴う修繕の増加とともに、ストックマネジメント計画における機械施設の更新も予定していることから、財源確保に努める必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

安定的な運営を図るため、H28年度に策定した経営戦略(R7改定予定)により経営改善に努める。具体的には、企業債を活用し、未接続世帯の解消を促進し、使用料収入の確保、ストックマネジメント計画を活用した施設等の長寿命化や計画的な更新、修繕計画の策定、費用の平準化を図り、経営改善に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。